

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 1月10日更新

事務事業名		献血の推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	齋藤 和広
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	林 かおり
	施策の柱	20	病気の早期発見			所属班	健康推進班	(内線)	1633
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 1	事業連番 10374	根拠法令	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第5条		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	献血の実施(熊本県赤十字血液センター採血車)及び啓発広報 ・昭和39年の「献血の推進について」の閣議決定以来、国、県、市町村、日本赤十字社、地域、職域団体、献血推進ボランティア活動の取り組みなど、多くの国民に支えられてきた。 ・平成15年7月に「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が施行され、県及び関係機関との連携により、献血への地域住民の理解を深めるとともに、採血事業者(日赤血液センター)による献血の受入れが円滑に行われるよう推進する。
【業務の流れ】	・献血の啓発：広報・ホームページによる啓発と献血のお知らせ ・市役所での献血の実施(年間5回)
【主な予算費目】	需用費(消耗品費)
【意見や要望】	・季節により血液が不足するので協力の呼びかけ。 ・骨髓バンク登録への協力の呼びかけ。 ・10代20代の献血が少ないので献血協力の呼びかけ。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・献血の実施(市施設5回実施、合志庁舎3回、西合志庁舎1回、ふれあい館1回) ・啓発活動(広報紙、ホームページへの掲載) ・平成30年度実績は、献血者数1,261人、献血車台数33台。	・献血の実施(市役所合志庁舎3回、ふれあい館2回実施予定。) ・啓発活動(広報紙、ホームページへの掲載)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 献血車台数(合志市内実施分)	台	比重不足等で献血ができなかった方へのお礼の品の残数がないため、消耗品費(ティッシュ1箱配布)の計上による増(前年度は計上無し)
イ: 献血受付者数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民及び地域住民(17歳から69歳男性、18歳から69歳女性)		→ ア: 17歳以上70歳未満男性、18歳以上70歳未満女性の人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
献血ができる。		→ ア: 献血者数
*③ 成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
・この事業は血液の安定供給の確保を図るためのものであり、指標としては献血者数がふさわしい。 ・献血者数は減少しており、平成31年度以降は平成30年度の実績を目標とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込	
① 活動指標	ア 台		14.5	33	25.5	33	33	33	33	33	
	イ 人		737	1,145	1,638	1,381	1,400	1,400	1,400	1,400	
② 対象指標	ア 人		39,091	38,821	37,300	38,730	38,750	38,750	38,750	38,750	
	イ										
③ 成果指標	ア 人		690	1,056	1,362	1,261	1,261	1,261	1,261	1,261	
	イ										
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円					3			
		一般財源	千円								
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	3	0	0	4
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	1
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	50	50	20	50	20	20	20	20	
	(B) 人件費計	千円	0	197	79	197	79	79	79	79	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	197	79	197	82	79	79	83	

事務事業名	献血の推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 平成30年度の市内の献血者数は1,261人であった。前年度と比較すると増えているが、目標としていた数には受付者数・献血者数数には満たなかった。合志市は献血に協力的な企業等が多いが、合志市に限らず全国的にも若年者の献血への関心が低い若年者への呼びかけが重要と考えられる。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成31年度も広報、市ホームページでPRし、昨年水準を維持していきたい。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない⇒【理由】 献血は市内各事業所で自主性を持って最大限の努力をされているので、現在市は関与していない。市役所で行う献血は職員の協力で献血者数を伸ばすことは可能だが、体調、服薬、比重、体重制限等で限りがある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない⇒【理由】 ティッシュ1箱は、献血を申込みれたが比重不足その他で献血できなかった方へのお礼の品代であり、最低必要経費と考えている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない⇒【理由】 献血に対して市が受持つ最低限の人件費であるとする。また、現在市役所で行っている献血への対応は訪問看護師が行っているが、献血にインフォームドコンセントが導入されたため、一般のボランティア等には依頼できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である⇒【理由】 ・献血会場については、地域住民が集まるところや従業員の協力ができる事業所で実施されている。 ・市役所での献血日時は事前に広報に掲載している。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である⇒【理由】 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により自治体に義務づけてある。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

今後も日赤血液センターと連携し啓発及び協力依頼に努め献血者の増加に努めたい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						